

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	7		利用人数に適切であるだけでなく、児童の様子によりレイアウトを変更して十分にスペースを確保できるよう心がけています。	
	2	7		基準値以上基準を満たす人員配置をしており、療育に関わる職員は、全員が資格者を配置しております。	
	3	7		入り口にベビーカーを置き安全面の強化を図っています。 現時点では車いす利用の方の契約はありませんが、室内、トイレはバリアフリーになっており、室内が見渡しやすい環境にしております。	
	4	6	1	毎日サービス提供後に清掃を行っており、心地よく過ごせるよう環境を整えています。 また、訓練室以外の場所も使用したり、レイアウトを変更したりして活動内容に合わせた空間を整えています。	今後も清潔で心地よく過ごせる環境整備を徹底し、活動に合わせて安全な空間づくりを行ってまいります。
業務改善	5	7		毎朝のミーティングやリフレクション会議などで課題があれば自由に話し合える場を設けています。	
	6	7		毎年アンケートを配付し、ご意見やご意向を把握することにより、改善につなげています。今後も公式Webサイトで公開してまいります。	
	7	7		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	8	7		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	9	7		年間予定を立てて研修を開催するだけでなく、いつでも閲覧できる研修動画も使って資質向上を図っています。	
	10	7		児童発達支援管理責任者を中心に職員間でしっかりと情報共有を行い、計画書の作成をしています。	
	11	7		標準化されたアセスメントツールを活用し、児童の状況を適切に把握し、日々の療育へ繋げています。	
	12	7		アセスメントを基にニーズや課題を整理し、必要な項目を適切に選択しています。そのうえで具体的な支援内容を立てて支援を行っています。	
	13	7		支援計画に沿ったより具体的な支援内容を職員で共有し、適切に支援を行えるようにしております。	
	14	7		管理者や児童発達支援管理責任者、また支援担当者の全員がチームとなって立案しております。	
	15	7		活動内容は発達段階に応じて繰り返し行っていることもありますが、楽しみながら続けていけるよう工夫して行っています。 長期休みにはイベントとして公共の場でのマナーを学ぶために戸外活動をしたり、算数や社会科で学習したものを体験したりするなど、日頃できない活動も取り入れています。	
	16	7		児童一人ひとりのニーズや課題に合わせて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成しています。	
	17	7		毎朝、その日の利用児童の担当や役割分担を掲示し、全員で共有しています。	
	18	6	1	支援終了後もしくは翌日のサービス前に支援内容の振り返りを行い、情報共有を行っています。	今後も支援終了後もしくは翌日のサービス前に振り返りの時間を設け、情報共有をしてまいります。
関係機関や保護者様との連携	19	7		経過記録は、できたことだけでなく、苦手なことや課題も記録するようにして次の支援計画の活かせるように努めています。	
	20	7		少なくとも6か月に1回はモニタリングを実施し、園や学校での課題や保護者様の願いも加味しながら、個々の成長に合わせた支援計画の見直しを行なっています。	
	21	7		担当者会議には、児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	22	7		ニーズに合わせて関係機関へのご案内はしていますが、継続的に連携した支援までは至っていません。	
	22	7		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	7		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	7		スムーズな移行ができるよう事前に情報共有を行い、相互理解を図るようにしています。	
	26	7		今までに移行支援を必要とした児童はいません。	
	27	7		児童発達支援事業所や相談支援と連携して、より良い支援を提供できるよう取り組んでいます。	
	28	7		感染予防の観点から外部の児童との活動は開催できておりません。	感染症へのリスクもあり一緒に活動は行えませんが、今後は保護者様のご意向を踏まえて交流の機会を検討してまいります。
保護者様への説明責任等	29	1	6	可能な範囲で研修へ参加させていただきました。	
	30	7		送迎時のやり取りや連絡帳を利用して保護者様と児童の状況や変化などの情報交換をおこない、共通理解を深めています。	
	31	7		保護者様の子育てのお悩みやご相談に寄り添う支援を心掛け、ご家庭で実践しやすい対応方法の提案や助言を行っております。	
	32	7		契約時に重要事項説明書、契約書を通し、利用者負担金などについて分かりやすく丁寧な説明を心がけています。	
	33	7		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ています。	
	34	7		日頃からコミュニケーションを大切にしており、保護者様に寄り添い子育てのお悩みやご相談をしやすい関係性を心がけています。 ご相談を受けた場合はご家庭で実践しやすい対応方法の提案や助言を行っております。	
	35	7		感染予防の観点から今年度も保護者会を開催できておりません。	今後は保護者様のご意見を伺いながら保護者様参加型の行事や保護者様同士や保護者様と職員との交流機会を検討してまいります。
	36	7		相談や申し入れに対応できる体制は整えており、契約時に周知しております。 また、相談や申し入れがあった場合には迅速かつ適切に対応しております。	
	37	7		毎月事業所で「COMPASS だより」を発行し、療育（活動や行事）の様子やご案内を載せています。 また、LINE 公式アカウントや YouTube、インスタグラム、公式 Web サイトなどでも情報を発信しています。	
	38	7		個人情報に関わる書類に関しては鍵付きキャビネットに保管管理し、十分に注意して取り扱っています。	
非常時等の対応	39	7		専門用語などを避けて、分かりやすく丁寧な情報伝達を心がけています。 児童の状況を連絡帳などで直接お話ししていますが、送迎時には保護者様と直接お話ししてより詳しい内容をお伝えしています。	
	40	7		感染予防の観点から地域の方をご招待するなどの企画に至っておりません。	今後は保護者様のご意見を伺いながら地域の方との交流機会を検討してまいります。
	41	7		各マニュアルはすぐに確認できるよう入口に掲示しております。 また、避難訓練は定期的に実施しております。	
	42	7		年間で計画を立て地震・火事・不審者などの避難訓練を実施し職員間の意識づけや連携を図るよう努めています。	
	43	7		アセスメントの際に保護者様から聞き取りを行い、児童の際に保護者等については全職員が把握しています。	
	44	7		アセスメントの際に保護者様から聞き取りを行い、児童の際にアレルギーについては全職員が把握し、指示書に基づいて対応しています。	
	45	7		ヒヤリハットが発生した場合、詳細に記録し、共有しています。 事例集は職員間で共有し、定期的な振り返りをおこない、再発防止と、事故の未然防止に努めています。	
46	7		事業所内でも虐待防止研修を開催し、適切な対応ができるよう研鑽しています。		
47	7		事業所内でも身体拘束研修を開催し、適切な対応ができるよう研鑽しています。 また、利用契約書に身体拘束についての記載があり、やむを得ず身体拘束を行う場合にはあらかじめ文面により保護者様の同意を得ています。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。